

薬草園かわらばん

皆さ〜んちょっと覗いてみませんか？
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2017年
7月10日
第15号



コノテガシワ（ヒノキ科）

中国北西部原産の常緑小高木です。ネットで調べたところ「延喜式」（927年）に記載されているとのことですので、我が国には古く渡来したものと思われます。枝葉は平面状で表裏同色、あたかも手のひらを立てたように側立するので兒手柏（コノテガシワ）の名が！漢名は側柏。葉と果実を薬用にし、枝葉（側柏葉）は収斂止血薬として用いる。又、毛生えの民間薬として外用する。種子（柏子仁）は滋養強壮や老化防止に用いる。

トウゴマ（トウダイグサ科）

北アフリカ原産の大型一年草、葉がヤツデのように裂け、長い柄を持つのが特徴。種子は黒褐色のまだら模様で8月頃から収穫可能です。種子を蓖麻子（ヒマシ）といい、ヒマシ油の原料となります。ヒマシ油は、注射剤用の可溶化剤として、また工業用潤滑油として利用されます。ヒマシ油は、かつては下剤として用いていました。種子には毒性の強いタンパク質であるリシンが含まれ（ヒマシ油には含まれず、絞りかすの方に存在）ているので口にするのは厳禁です。

今、こんな草木が楽しめます
待ってまーす！！



薬草園ボランティアグループ